

N700系歯車箱破損事故で緊急申し入れ！ 1991年9月30日シンテラエクスプレス・「ひかり291号」事故を想起する！

JR東海労申第28号
2010年3月5日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 松本 正之 殿

JR東海労働組合
中央執行委員長 鈴木 富雄

N700系車両歯車箱破損事故に関する緊急申し入れ

3月3日、マスコミ各社は「最新型のN700系（N2編成）12号車No.3歯車箱が破損、新神戸駅で運転を打ち切り、約7,000人に影響が出た」とセンセーショナルに報じた。発生場所や車両の所属がJR西日本とはいえ、このN700系車両はJR東海も主力車両として投入を続けており、現在、約50編成も有することから、安全を担保する上で極めて重大な問題であると考える。よって、下記の通り申し入れるので、誠意ある回答を行うこと。

記

1. 事故発生前後の詳細な状況を明らかにすること。
2. 歯車箱の破損の原因を明らかにすること。
3. 歯車箱の製造会社及び製造年月日を明らかにすること。
4. JR東海の車両に同種の歯車箱が使用されていれば、直ちに運行を停止し歯車箱を交換すること。
5. JR東海における再発防止対策を明らかにすること。
6. 同編成は新神戸から新大阪駅まで回送されているが、仮搬送台車を使用せず走行させた判断は誰がしたのか明らかにすること。
7. 新大阪～鳥飼車両基地間は仮搬送台車を使用しており、仮搬送台車不使用での走行は安全上極めて問題であると考える。会社の見解を明らかにすること。

以上

真の原因究明を！

のぞみ 欠損、ひび割れ55センチ

「ギアボックス」中の歯車破損原因？

山陽新幹線で走行中、JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。

山陽新幹線は、JR西日本が四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。

のぞみ 耐用年数は設定せず

「ギアボックス」の耐用年数は設定せず

山陽新幹線の「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。

山陽新幹線は、JR西日本が四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。



掲載記事 東京新聞

山陽新幹線「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。JR西日本は四輪駆動していた「のぞみ」ひび割れ55センチの歯車破損事故。

本部は、西日本管内で発生したN700系車両の歯車箱破損事故に関する緊急申し入れを行いました。マスコミによると欠損箇所の幅が55センチにも達し、歯車の一部が破損した可能性があると報じています。過去、JR東海管内に置いて、車軸が固着したまま東京から三島まで走行するという重大事故も発生しており、今回の事故もJR西日本管内でのこととは言え、重大な事故として認識し、原因究明を会社に申し入れたところでは、会社は直ちに協議を行うこと。